ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION 全酪連会報

平成24年度会員役職員
米国視察研修報告

グループ活動紹介／
小林市酪農青年女性連絡協議会
日本酪農見て歩紀（岡山県岡山市 尾坂牧場）

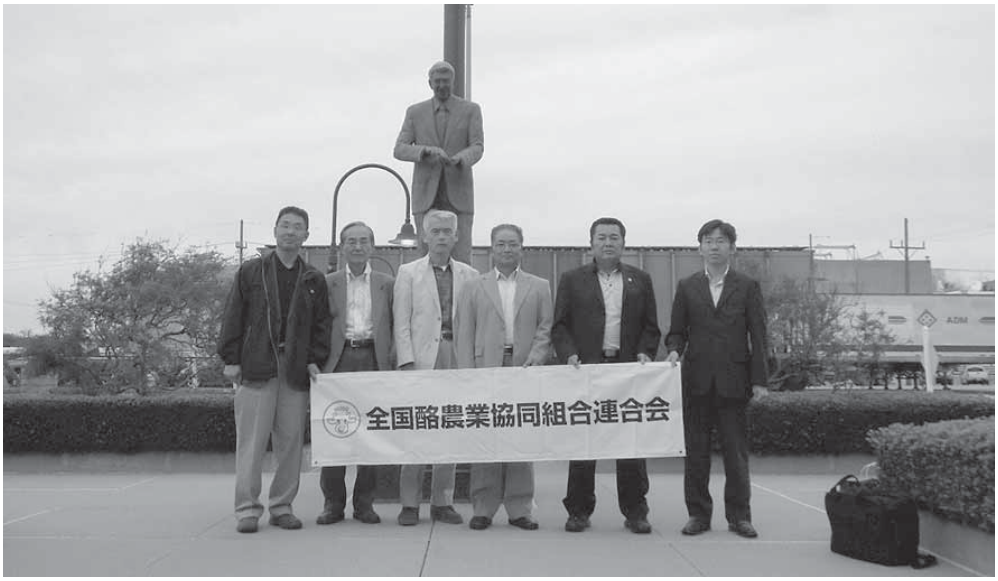
酪農トピックス／
福島県の酪農復興に大きな一歩　復興牧場「ミネロファーム」
待ちに待った生乳の“初出荷”10月より始まる!!（仙台）ほか

11

2012 November　No.566

全国酪農業協同組合連合会

平成24年度会員役職員 米国視察研修報告



▶ADM社にて

平成24年9月29日(土)から10月8日(月)の10日間にわたり、平成24年度会員役職員米国視察研修が昨年度に引き続き開催されました。本研修は、米国の穀物情勢や粗飼料情勢を中心に視察研修を行うことにより研鑽を深め、情報の共有化を図ることを目的としています。

今回の研修は、参加者5名(随行者1名を含む)となりましたが、少人数ならではの良さを生かしつつ、アメリカ中西部での穀物情勢視察及び西海岸での粗飼料情勢視察を中心に、東はナイアガラフォールズから西はロサンゼルスまでアメリカ大陸を横断する行程で実施しました。

1 穀物情勢視察

穀物情勢の視察は、シカゴのCBOT(シカゴ商品取引所)から始まりました。CBOTは、1848年に農産物のヘッジ機能として開設された取引所で、ニューヨーク商品取引所と並んで世界最大の取引所となっています。CBOTの現在の取引の大半は、電子取引となっているため、取引所で実際に行なう取引は少なくなっており、かつてほどの活気は見られなくなったとのことでしたが、午前9時30分の取引開始時刻には、各商品別に設けられている取引所のピットフロアにトレーダーが集まり、タブレット端末を片手に手信号で盛んに売買が行なわれる光景を見ることができました。

大豆収穫風景

次に、イリノイ州シャンペーンの穀物農家を視察しました。トウモロコシの収穫は、視察時には既に終わっており大豆の収穫の最中でした。トウモロコシは、今年の記録的な少雨の影響を受けて生産量が十分ではなかったものの、大豆は期待通りに収穫が進んでいるとのことでした。

引き続き、アメリカ中西部を南下し、穀物メジャーのADM社を視察しました。ADM社は、「油脂種子の加工処理」「トウモロコシの加工処理」「農業サービス」を3つの柱として事業展開しており、「農業サービス」部門は、穀物の調達・保管・流通・販売に至るまでの穀物バリューチェーンを自社で行っています。小麦、トウモロコシ、大豆をはじめとして砂糖、パーム油等幅広い原料を、食品、飼料、燃料、工業用途に販売しており、穀物を中心に業界で高いシェアを誇ります。ADM社では、今後の

平成24年度米国視察研修　参加者

氏名(敬称略)	会員名	役職
石川(いしかわ) 正美(まさみ)	栃木県酪農業協同組合	代表理事組合長
品川(しながわ) 文隆(ふみたか)	群馬中央酪農業協同組合	代表理事組合長
新里(しんざと) 重夫(しげお)	沖縄県酪農農業協同組合	代表理事組合長
坂本(さかもと) 壽文(としふみ)	全国酪農業協同組合連合会	代表理事専務
随行者		
岩本(いわもと) 仁志(ひとし)	全国酪農業協同組合連合会	購買部 購買企画課長代理

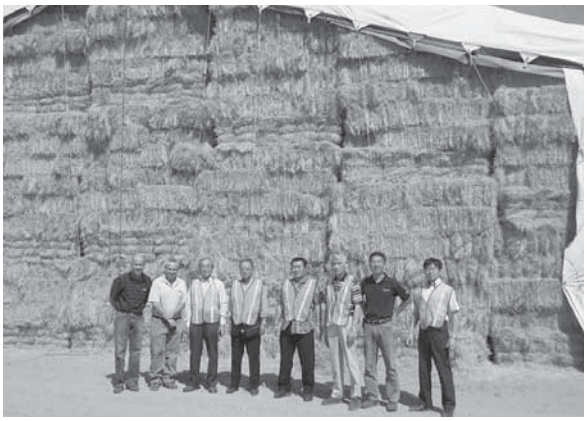
トウモロコシ価格の動向や来年度のトウモロコシ生産の影響について質疑が行われ、米国農務省が発表した9月末の在庫が想定以上に少なかったことが示すように、生産量の落ち込みが高値を持続する要因として挙げられることや、圃場の土壌中の水分含量が少ない状態が続いているため今後の降水量によっては、来年の生育にも影響を及ぼす可能性がある等の見解が示されました。

翌日は、ロック＆ダムを視察しました。アメリカ中西部で生産された穀物の多くは、アメリカ国内輸送の大動脈となっているミシシッピ川を艀（はしけ）（バージ）と呼ばれる平底の船に積まれて運ばれます。艀は、川幅が広くなるごとに船団を連ねながら下流のニューオーリンズの港まで下っていきます。艀による輸送は、トラック輸送に比べてはるかに輸送効率が良いため、ロック＆ダムではミシシッピ川の水位調整により艀を通すことで輸送を円滑にしています。

ロック＆ダムを通過する艀（はしけ）

2 粗飼料情勢視察

アメリカ中西部から空路で西海岸のサンディエゴへ移動し、カリフォルニア州のインペリアルバレーでボーダーバレー社を視察しました。インペリアルバレーでは、温暖で乾燥した気候風土とコロラド川を水源とした地形の高低差を利用した灌漑により牧草の生産が盛んに行なわれています。ボーダーバレー社は、1989年3月に創立した西海岸南部最大の牧草サプライヤーで、約150戸の牧草生産農家からアルファルファ、スーダングラス、クレイングラス、バミューダ等の草種を買い付け、輸送向けに加工した上で日本をはじめ、中国、韓国などのアジア圏やUAE等の中東に輸出しています。視察は、本社工場で加工工程を見学し、貯蔵倉庫では適切に管理された良質なクレイングラスを手に採りながら保管状況を確認しました。


ボーダーバレー社にて

また、ボーダーバレー社近隣の牧草の生産農家の草地を訪れ、バミューダの刈り取りや、灌漑の水路についても続けて視察を行いました。

視察の後、本会サンフランシスコ事務所長が北米の最近の粗飼料情勢について報告を行いました。特に、近年の米国における粗飼料の生産量が増加傾向にある中、日本向けの輸入量は横ばいとなっており UAE、中国が急激に輸入量を伸ばしていること、また、日本と中国、UAEの輸入業者数の差が、1社当たりの購買力の差を顕在化させつつあること、更には、日本が他国に比べて品質に対する注文の多いことが安定的に草種を買い揃えることを難しくしていることなどについて説明があり、日本の高品質依存型の牧草の買い付けの姿勢を見直す必要性等について活発な意見交換が行われました。

3 まとめ

本研修では、アメリカ中西部における歴史的な干ばつによりトウモロコシの穀物相場が高騰している時期の実施となったこともあり、参加者の関心も高く真剣な面持ちで視察を行なっていました。また、視察の合間には、ナイアガラの滝を見物し、サンディエゴ市街や避寒地のパームスプリングスを散策して参加者間の交流を深めました。

サンディエゴにて

会員の役職員の皆様とともに現地に赴き、現地の状況を実際に目で見て、肌で感じることができることが本研修の特徴です。全酪連は、このような情勢の変化に対して、しなやかに対応していくことと同時に、これらの情報を会員・酪農家に対してより早くより正確に伝えることを通じて役割を果たしていきたいと考えています。

最後に、ご参加いただいた皆様におかれましては、時差の影響や連日の移動により疲労が蓄積する中、熱心に研修いただき厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

小林市酪農青年女性連絡協議会

小林市酪農青年女性連絡協議会
―「モーモースクール」子供達に酪農の素晴らしさを伝える―

今月号では、宮崎県小林市の小林市酪農青年女性連絡協議会の活動をご紹介します。同協議会では消費拡大や技術習得のための勉強会の他、特徴的な取り組みとして、昨年より「モーモースクール」として、地元の小学校を訪問して子供たちに牛の事や酪農の事について出前授業を行っています。今回は小林市立細野小学校で開催されたモーモースクールを取材させて頂き、協議会会長の黒木英教さんにお話を伺いました。

構成メンバーと活動

現在、小林市の酪農家戸数は54戸で、後継者の殆どが青年部に所属し、酪農技術の習得を目的とした勉強会開催等の活動を行ってきました。一方、女性については全員が女性部に所属し、環境美化や牛舎巡回などを行ってきました。

平成23年に隣接の野尻町が小林市と合併したことを機に、青年部、女性部が一つにまとまり、小林市酪農青年女性連絡協議会として発足しました。

黒木会長

モーモースクール開催経緯

小林市内の酪農は戸数・生産量共に減少傾向にあり、更に地元のミルクプラントも操業停止となり、自分たちで作った牛乳を直接小林市の消費者へ届けることができなくなりました。また、追い打ちをかけるように口蹄疫の発生や新燃岳の噴火等の災害にみまわれ、このままでは小林の酪農は衰退の一歩をたどる一方、と同協議会の会員一人一人が危機感を持ち、この状況を「どげんかせんといかん！」と思っていました。

そんな折、子供たちに酪農への理解を深めてもらおうと、昨年より「モーモースクール」を開催。小林市内12の小学校すべてを協議会会員で巡回し、体験授業を行っています。

開催の企画について

モーモースクールを始めるにあたっては、協議会のメンバーで直接学校や教育委員会に赴き、何度も打ち合わせを行い、日程・授業内容を決めます。

主に1年生～3年生の低学年を対象にし、訪問するメンバーは各小学校の卒業生、あるいは開催する小学校から近隣の酪農家としました。このことで学校の子供たちに、住まいの近くに酪農家がいることを知ってもらうことができるからです。

モーモースクール開始

苦労したこと

モーモースクールを始めた当初はなかなかうまく話すことができず、子供達に理解してもらえるのか?酪農に興味を持ってくれるのか?と不安の連続でした

グループ名	小林市酪農青年女性連絡協議会
部長	黒木　英教
地区	宮崎県小林市内
構成	小林市内の酪農青年部、女性部
メンバー数	青年部12名 女性部53名 計65名
地区総戸数	54戸

酪農家の仕事について

が、自分たちの酪農への想い、やりがいをしっかり話すことを心がけました。また、パネルやスライドを使いながら話をすること、チーズ製造や牛乳餅の製造実演やバター作り体験を授業に取り入れることで、子供達が一層楽しみ、興味を持ってくれるように工夫もしています。

また、子供たちの質問で時々「何で牛に角が生えるの?」「雄の牛はどうなるの?」という質問が寄せられて、回答に困るときがあります。

今後の目標や取り組みたいこと

今年度、地域交流牧場全国連絡会に加入し、その活動の中で九州各県、そして全国の酪農家がどのような取り組みを行っているのかを学び、モーモースクールを更に充実させたいと思っています。またこの取り組みを通じて、小林市の消費者の皆様にもっと酪農への理解を深めてもらい、自分たちの酪農経営にフィードバックできるようにしていきたいと思います。

モーモースクール体験

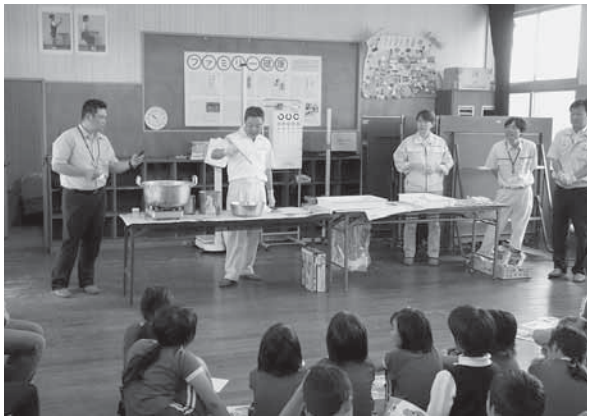
取材当日は、黒木会長はじめ5名の酪農家の方々と、宮崎経済連、JA小林、西諸普及センターの担当職員の方々が、小林市立細野小学校を訪れモーモースクールを行いました。今回の授業は、3年生を対象に行われました。最初に訪問した酪農家、スタッフの自己紹介から始まり、女性部の温水優子さんが酪農家の仕事について、JAこばやしの山懸裕二さんが乳牛の事について、スライドやパネルを使いながらわかりやすく丁寧に説明を行いました。話を聞く子供たちの表情は真剣そのものでした。

続いて牛乳がどのような製品に加工されるのかを知ってもらうために、酪農家であり、チーズ・アイスクリーム製造販売を営んでおられるダイワファームの大窪和利さんによるストリングチーズ（さけるチーズ）の製造実演を行いました。昨年開催された国産ナチュラルチーズのコンテストで上位賞を受賞された大窪さんの、熱湯でこねられたカードを何度も伸ばして束ねていく見事な手さばきに子供たちの目は釘づけ。「お餅みたい！」「何であんなに伸びるの?」と驚きの声を上げていました。そして出来たてのチーズを子供たち全員で試食。「ミルクの味がしておいしい」「もっと食べたい」と大好評でした。

牛のことについて

最後に5人の子供たちが授業の感想を述べて約1時間のモーモースクールは終了。「牛のことがたくさんわかりました」「今度牧場に行ってみたい」という子供たちの声に、酪農家の皆さんからは思わず笑顔がこぼれていました

モーモースクール開催中にもかかわらず取材依頼を快く引き受けていただいた黒木英教さん、また取材にあたり多大なる協力を頂きました宮崎県経済連の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。


チーズ作り実演

北福岡工場発

酪農生産者・地域の皆様に支えられて60年

― 北福岡工場 第26回ミルク祭り開催！ ―

9月23日㈰、本会の北福岡工場（岩手県二戸市木元工場長）で「ミルク祭り」が開催されました。

このイベントは昭和61年に始まり今年で26回目となりました。

昨年は東日本大震災により開催が出来ませんでしたが、酪農状況も少しずつ回復してきたことや地域から数多くの要望もあり、恒例となっていたミルク祭りを絶やさず続けていこうと9月23日に開催することが出来ました。

二戸市の子供達と本会の砂金代表理事会長、中村常務、木元工場長によるテープカットでミルク祭りは開会し、県大会で金賞受賞の石切所小学校マーチングバンドの演奏後、主催者を代表して本会の砂金代表理事会長が挨拶して始まり、来賓の二戸市長、県会議員、岩中酪組合長（本会 代表監事）に祝辞を頂き祭りを盛り上げていただきました。

工場内の広場には本会の乳製品や奥中山高原農協乳業㈱の牛乳・乳飲料の即売コーナーが設けられた他、工場従業員によるソフトクリーム・焼きそば・焼き鳥の販売コーナー、岩手中央酪農協からも串もちや田楽の販売コーナー、そして地元産直からは、新鮮野菜やくだもの販売コーナーが設けられました。また、独立行政法人・家畜改良センター岩手牧場も酪農PRコーナーの設置や手作りの牛模型による乳搾り体験や、地元企業のユアテック㈱協力により高所作業車による地上13mの展望にも列を作って大勢の子ども達で賑わいました。

◀会場（駐車場）入口

◀工場のシンボル牛の親子

▲ 多くの人で賑わう祭り会場

また、広場中央や特設ステージでは子ども達による牛乳早飲み競争や地元民謡会による民謡披露が催された他、手作りバター体験コーナーやゴーダチーズのカット実演も評判がよく、恒例となった最後の大抽選会では、当選番号の発表のたびに会場は大きな歓声に包まれました。

当日は、曇りがちの空模様で雨の心配もしましたが、最後まで無事に終わることが出来ました。入場者は昨年の中止にもかかわらず多くの方が来場され、待ち望まれている祭りだなと再確認できました。

これからも、北福岡工場は地元・二戸市に根ざした工場として、二戸市民に愛される工場を目指していきます。

（H.T）

▲ 左より中村常務、砂金会長、木元工場長

仙台支所発

福島県の酪農復興に大きな一歩
復興牧場「ミネロファーム」
待ちに待った生乳の“初出荷”10月より始まる!!

10月５日㈮に、福島市松川町にある「ミネロファーム」において、待ちに待った生乳の初出荷を迎え、本格的に搾乳が始まりました。

ミネロファームでは、８月より北海道から初妊牛の導入を行い、現在は90頭を飼育し、無事に分娩を終えた16頭から搾乳を行い、初出荷の５日には、145kgが出荷されました。

当日は、初出荷を報道しようと各テレビや新聞社が、朝の搾乳時間（午前6:30ごろ）に合わせて大勢集まり、夕方の県内のニュースや翌日の新聞などに大きく取り上げられました。

田中一正さんは、**「福島県内の仲間の酪農家とともに切磋琢磨出来ることは本当に喜ばしい。酪農復興への大きな第一歩であり、もっともっと牛乳が出るようにこれから気を引き締めて、頑張っていく」**と、出荷の喜びと意気込みを語り、ミネロファームは、年内に150頭まで頭数を増やすとともに、年度内には、日量4,500kgを目指します。

牧場スタッフも新たに５名に増え、新たな一歩を踏み出すことができました。皆様の応援宜しく御願い致します。

なお、復興牧場「ミネロファーム」は、被災酪農家の支援などに取り組むNPO法人「福島農業復興ネットワーク」が、乳製品メーカーのダノングループや福島県酪農業協同組合の支援を受け、設立し、運営を行い、福島県酪農の復興を目指しています。

▲ ミネロファームのスタッフたち

東京電力福島第一発電所事故に伴い、避難を余儀なくされた酪農家は、福島県内では、72戸。復興牧場「ミネロファーム」には、休業に追い込まれた飯舘村や浪江町の酪農家など、５名が働いています。

震災や原発事故により、避難を余儀なくされた酪農家の雇用機会を創出し、将来的には、原発事故により失われた1,000頭分の乳量を取り戻す計画となっており、第2、第3の牧場を設ける予定です。

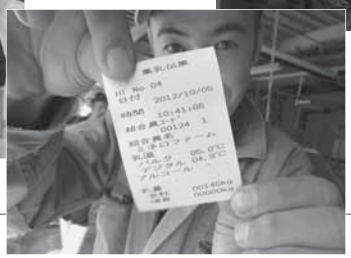
牧場のリアルな情報は「www.facebook.com/minerofarm」で発信中です。ぜひご覧ください！

（W.H）

ミネロファーム生乳初出荷

▲ 搾乳様子を取材する各テレビ局や新聞社

▶ 搾乳に取り組む田中牧場長（手前）、長谷川さん（奥）



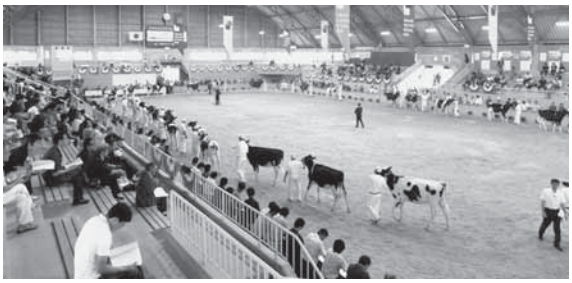
◀ 初出荷となった5日には145kgの生乳を出荷

札幌支所発

北海道ホルスタインナショナルショウ開催！

9月22日㈯から9月23日㈰の2日間、北海道安平町にある北海道ホルスタイン共進会場において北海道ホルスタイン農業協同組合主催の北海道ホルスタインナショナルショウが開催されました。連日、晴天に恵まれ、最高気温25度を越す残暑厳しい中、北海道一円から、延べ493頭もの頭数が出品され盛大に執り行われました。

全酪連は展示ブースにおいて、狭山工場で製造されたチーズの販売や本会代用乳“カーフトップEX”を用いた哺育の勉強会、製品紹介を行いました。ブースには連日多くの来場者を迎え、チーズは、当日、共進会に出品した生産者のおつまみや、お土産として好評を受け、用意したチーズは瞬く間に完売状態となりました。勉強会には学生の姿や、道内のみならず府県の生産者、海外の生産組合まで見られ、“強化哺育”や、これから寒さ厳しい冬を迎えるにあたっての寒冷対策についてなど熱心に聞き入る様子が窺えました。


▲ 共進会の様子

▲ チーズ販売ブース

強化哺育ブース ▲▶

(I.A)

名古屋支所発

東海酪農業協同組合連合会「三河ミルククーラーステーション」完成

9月25日㈫、東海酪農業協同組合連合会（伊藤敏之代表理事会長）が新たに建設していた「三河ミルククーラーステーション」が完成し、日航ホテル豊橋において竣工記念式典が行われ、関係者約80名が出席しました。三河CSは、東三河CSの老朽化や能力不足に伴い、新たに愛知県豊橋市にある「中央製乳株式会社」内の敷地に建設されました。

▲ 三河CS

貯乳能力は158t、建設費は1億7,000万円。三河CSの建設によって需給調整機能は改善されました。

三河CSは10月1日から稼動し、愛知県豊橋市、豊川市、田原市、新城市の酪農家から出荷される生乳を取り扱います。

竣工記念式典では、馬瀬口弘志代表理事副会長の開会の言葉に続き、伊藤敏之代表理事会長が挨拶され、門谷廣茂中央酪農会議専務理事の音頭により牛乳で乾杯し、盛況な竣工記念式典となりました。

▲ 挨拶される「伊藤代表理事会長」

▲ 馬瀬口代表理事副会長

名古屋支所発

「地元の元気(チカラ)地元の牛乳」アスナル金山2012 開催

▶街頭でのPRグッズの配布

◀ミセスHカップを使用しての牛乳早搾り対決

10月8日㈪、愛知県名古屋市のアスナル金山において、東海酪農業協同組合連合会（伊藤敏之代表理事会長）主催の「地元の元気（チカラ）地元の牛乳」が開催されました。

東海酪農業協同組合連合会・伊藤敏之代表理事会長の「キックオフ宣言」がされた後、街頭では牛乳や告知グッズの配付、展示コーナーでは酪農教育ファームの紹介や東海管内の牛乳・ヨーグルトが展示され、消費者へのPR活動が行われました。

体験コーナーとしては、模擬搾乳ができる「ミセスHカップ」を使用し、早乳搾り対決や、東海酪農業協同組合連合会（愛知県、長野県、三重県、岐阜県）酪農家によるクイズ大会や牛乳パックの早積み対決が開催され、会場は大いに盛り上がっていました。

▲ラジオの生放送本番中（東海酪連・伊藤敏之会長）

▲終了宣言される東海酪連・馬瀬口副会長

当日は晴天に恵まれ、たくさんの来場者を動員することができ、また、CBCラジオ及び東海ラジオで生放送される等、マスメディアを通じてのPR活動も行われました。

大阪支所発

兵庫県酪連 出前酪農教室 初開催

10月5日㈮に兵庫県酪農業協同組合連合会主催の出前酪農教室が、県内産牛乳の消費拡大を目的に、初めて芦屋市立潮見小学校で開催されました。

この催しは、県酪連が県内の酪農家と地元新聞社の協力を得て、同小学校4年生の児童100名余を対象に酪農家の仕事や乳牛の話等をわかり易く説明し、食やいのちの大切さを感じる時間を過ごしました。

酪農家の牧場の1日の仕事内容を花房牧場（酪農教育ファームファシリテーター）さんが、乳牛の一生や牛乳からできる商品のお話を高橋牧場（酪農教育ファームファシリテーター）さんが担当されました。児童に給餌している配合飼料や乾草を見せると、匂いを確かめ「おいしそうな、いいにおい！」などあちこちから声があがっていました。

乳牛の勉強の次は、全員が牛乳と生クリームからバターを作る体験実習を行いました。講師の先生の説明で手順を確認し、クリームが入った容器を勢いよく振りはじめると会場が一斉にざわつき始めてしまい、容器の中で変化する音が聞き分けられない程で、過剰に振りすぎてしまった児童やバターが見事にできた児童達がお互いの出来栄えを見せあっていました。

出来上がったバターは、給食の時間に自分の手作りバターを美味しそうに味わっていました。

県酪連は今後も、出前酪農教室などを酪農への理解促進に3回開催予定です。

（S.T）

日本酪農

見て歩紀

▲ 尾坂さん一家

No.234
尾坂牧場
岡山県岡山市

酪農ヘルパーから経営者へ！

地域の概況

今回取材させて頂いた尾坂牧場は、岡山県岡山市の百間川と吉井川に挟まれた水資源豊かなところに位置しています。牛舎の周りには木々が立ち並び、蔦の絡まる素敵な牛舎が尾坂牧場です。このあたりでは昔から、春は牧草の収穫、秋は稲刈り又はＷＣＳと、水田酪農が盛んな地域です。岡山県南部の平均気温は17・5℃と年間を通して比較的温暖であり、また「晴れの国おかやま」と言われるだけあって年間降水量は1，105・9㎜前後と、天候にもとても恵まれた地域でもあります。

今回ご紹介させて頂く尾坂牧場は、おかやま酪農業協同組合（東山 基代表理事組合長）に所属し、現在の酪農家戸数は331戸、平成23年度の年間生乳生産量は、98，603tと中四国ではトップを誇っています。

▶牧場写真

就農への経緯

ご主人の巧さん（32）のご実家では、中学生の頃まで酪農経営をされていました。その縁もあり、20代半ばから岡山県北部にある肥育農家さんで従業員としてお仕事をされていました。当時は500頭の肥育牧場でお仕事をされ、なんと1日に2万歩も歩いていたそうです。お仕事の大変さが窺えます。その後、酪農ヘルパーに転身され、現在の牧場の前の経営者さんや、周辺の酪農家さんで酪農ヘルパーとしてお仕事に励まれていました。酪農ヘルパーとしてお仕事されているうちに、酪農経営に興味を持ち、「いつか自分でも酪

農経営をしてみたい」という気持ちが日に日に強くなってきたとのことです。この夢を実現するための過程として、飼養管理の勉強や資金等の貯蓄をするため、まず5年間は酪農ヘルパーとして働こうと決心され、日々の業務に励まれていました。しかし、酪農ヘルパーを始めてから2年半経った今年の2月上旬の事、前の経営者さんから「牧場を引き継いでもらえないか?」と話され、新規就農を決心されたとのことです。

一方、奥様のさゆりさん（34）は、以前は畜産とはまったく関係のない介護職に従事されていました。

▶牛舎の前にて

しかし、ご主人の近くの肥育素牛牧場さんから、哺乳の女性従業員としての募集があり、それをきっかけに畜産業界に入られました。お子さんが小さかった頃は、お子さんを背負いながらお仕事をされていたそうです。当初は牛についての知識もまったく無く、本を読みながら、また牧場の従業員さんやご主人に助けて頂きながら毎日奮闘されていたようです。

牧場の引継ぎ、就農にあたって

牧場の引継ぎに関する会議は今年の3月頃から始まりました。酪農ヘルパー業の合間をぬいながら、県民局の方々と事業計画及び資金計画等に関する話し合いを行ったため、とても長い時間を要しました。書類が提出できた頃には8月下旬になっており、9月に就農。とても慌ただしい就農となりました。

牧場の現況

現在、尾坂牧場には経産牛が20頭、未経産牛が11頭おり、9月の出荷乳量は約1tでした。現在は特に乾乳牛や分娩牛が偏っているため、今が一番の頑張り時とのことです。取材させて頂いた日も、初産牛が分娩し、元気で大きいF1♀が生まれていました。10月の分娩予定は4頭であり、現在で3頭が分娩したとのことでした。

尾坂牧場の特徴は、牛達それぞれに個性的な呼び名がついている事です。呼び名は、牛達それぞれの特徴から決めているとのことで、とてもユニークでした。牛達も初めはその呼び名で呼ばれても無反応だったようですが、就農して1か月以上経った今、呼べば耳を動かしてくれるなど、反応を示してくれるようになり、牛達自身も以前より落ち着いてきたとのことでした。牛達への愛情がとても伝わって来ました。

尾坂夫妻には、小学4年生の娘さんと2年生の息子さんがおられ、休日には立派な戦力として活躍されているようです。牧場に来ては糞かきや餌やりを手伝ってくれており、お二人とも牛が大好きで元気いっぱいの様子が窺えます。ご夫妻の方針として、「牛に関することは包み隠さず伝える」とされています。その為、先日経産牛を出荷したとき

取材当日に生まれたF1♀ ▶

哺乳作業のお手伝い中のひなたちゃん

も「お肉になるのよ」と隠さず伝えたところ、お子さん達は涙ながらに「ありがとう、ありがとう」と何度も繰り返されていたとのことでした。また、子牛達の世話もお子さんに一任されているとのことで、命の尊さや責任感を学べるとても素敵な場所であることがひしひしと伝わって来ました。

今後の目標

まずは、牛舎の入り口に建設中の事務所を完成させ、来年からはさらに後継牛の育成に力を注いでいきたいとのことです。

そして将来的には外に乾乳牛舎を設け、フリーストール牛舎のパーラー搾りが出来たらいいなと目を輝かされていました。

また、最近は仕事が忙しく、お子さん達と遊べる時間が少なくなってしまったため、いつかはヘルパーさんを頼んで、旅行にも行きたいと話をされていました。

今回の取材にあたり、元気いっぱい夢いっぱいの尾坂ご夫妻とお話させていただきました。酪農家戸数が減少する中で、尾坂牧場は「おかやま酪農の宝」だと感じました。どうか、いつまでもお元気で、笑顔の絶えない尾坂牧場であって頂きたいと心から思います。お忙しい中取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。

牛が大好きな凌くん

おなか一杯でご満悦な牛達

新規就農経営委譲を希望される方

酪農ヘルパー全国協会ホームページの新規就農情報または**全国農業会議所の全国新規就農相談センター**にアクセスしてみてください。

酪農ヘルパー全国協会

http://d-helper.lin.gr.jp/newfarmer/index.html

全国新規就農相談センター

http://www.nca.or.jp/Be-farmer/index.php

全酪連のホームページからも入れます。

http://www.zenrakuren.or.jp/

全酪連ホームページのトップ
↓
右下リンク
↓
新規就農情報［㈳酪農ヘルパー全国協会］
新規就農情報［全国農業会議所］

ちょっと役立つパソコンの小技

表示されている部分だけ選択する

（動作確認:Excel2003,2007,2010）

図１のような表で、２行目を選択→右クリック→「表示しない(H)」を選択すると２行目が非表示となり図２のようになります。

	A	B	C
1	1	2	3
2	4	5	6
3	7	8	9
4			

図１

→

	A	B	C
1	1	2	3
3	7	8	9
4			

図２

ここでA1からC3を選択、コピーして任意の場所（ここではもとの表の下側）に貼り付けすると、図３のように隠れていた２行目も現れてきてしまいます。画面に表示されている部分だけを選択したい場合、まずは先ほどと同じようにA1からC3までを選択し、「Alt」キーを押しながら「；れ」のキーを押します。

その後でコピーして、任意の場所に貼り付けすると、図４のように画面に表示されている部分のみが貼り付けできます。

	A	B	C
1	1	2	3
3	7	8	9
4			
5	1	2	3
6	4	5	6
7	7	8	9
8			

図３

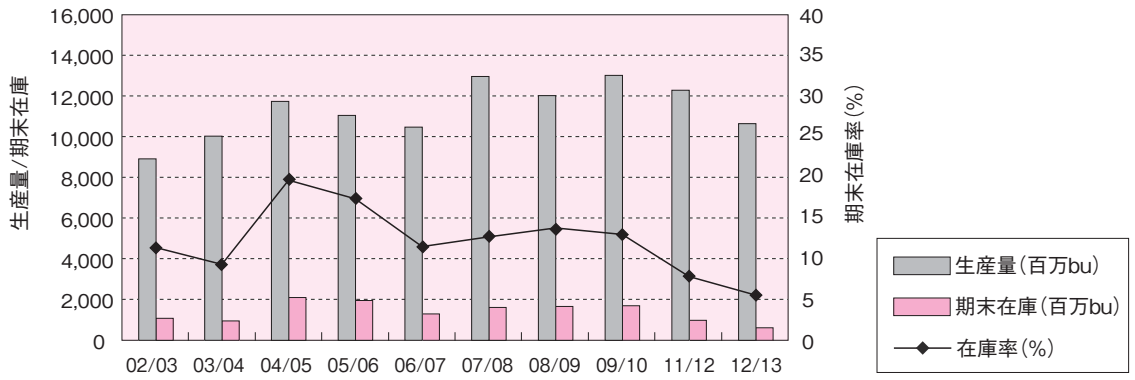
→

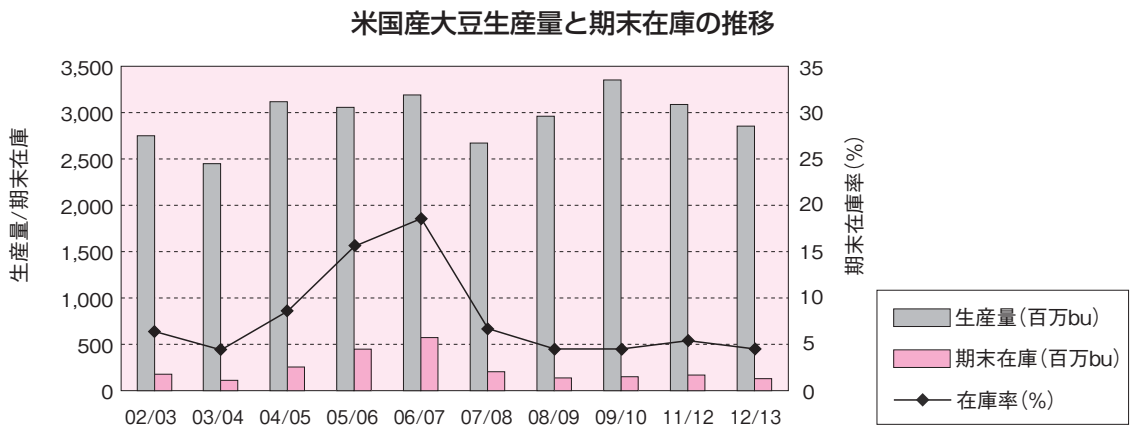
	A	B	C
1	1	2	3
3	7	8	9
4			
5	1	2	3
6	4	5	6
7	7	8	9
8			
9	1	2	3
10	7	8	9

図４

原料情勢 平成24年10月

10月11日発表 米国農務省トウモロコシ需給予想	【11/12年産】 作付面積91.9百万（前月91.9百万） エーカー、単収147.2（147.2）bu/エーカー、生産量123億5,800万（123億5,800万）bu、総需要量125億2,600万（123億3,000万）bu、期末在庫9億8,800万（11億8,100万）bu、在庫率7.9（9.6）%。
	【12/13年産】 作付面積96.9百万（前月96.4百万） エーカー、単収122.0（122.8）bu/エーカー、生産量107億600万（107億2,700万）bu、総需要量111億5,000万（112億5,000万）bu、期末在庫6億1,900万（7億3,300万）bu、在庫率5.6（6.5）%。
トウモロコシ相場動向	9月前半は800¢近くで推移していたが、9月後半からは700¢半ばで値動きをしている。今後のシカゴ相場は収穫期の終盤を迎えており、収穫が終了するまでは上値の重い展開が予想される。収穫量の全貌が明確に見えない中、米国農務省の予想は供給量の減少を需要の減少でカバーした苦肉の策との見方もあり、今後は実需のひっ迫からの高値にも注意が必要と思われる。
国内産大豆粕	米国産大豆需給予想の12/13年の期末在庫見通しは1億3,000万（1億1,500万）bu、在庫率4.50（4.31）%。史上最高値をつけた一時よりは落ち着いてきたが、需給がひっ迫している現状に変わりはなく、高値圏に留まっている。国産大豆粕の発生量は依然低調なままであるが、需要も減退していると思われ需給バランスはそれほど崩れていない様子。国産大豆粕がカバーできない需要は輸入大豆粕が補っている状況に変わりはない。現時点では輸入大豆粕は順調に入船しており、受け渡しには問題ない見込。今後は中国や東南アジアの需要がどの程度あるのかといった点や南米の作付・生育状況に注意を払う必要がある。
糟糠類	フスマの発生量は依然低迷したままであるが、使用割合は高いままであるため、需給は非常にタイト。今後は発生量の増加も多少期待されているが、使用量が減らない限り、需給は大きく改善することはないと考える。グルテンフィードも発生量が減少している中、需要は堅調なため需給はかなりタイトになっている。輸入も一部行われているようだが、今後も継続して入船するかは不透明であり、需給を大きく改善するには至っていない。
海上運賃	海上運賃は慢性的な船腹過剰傾向にあるが、大西洋における鉄鋼物、中国における石炭の値動きが活性化しており徐々に引き締まりつつある。原油相場は、シリア・トルコ情勢の緊迫化を受け中東原油は供給がひっ迫傾向にあり、やや強含みの展開となっている。





輸入粗飼料の情勢 平成24年10月

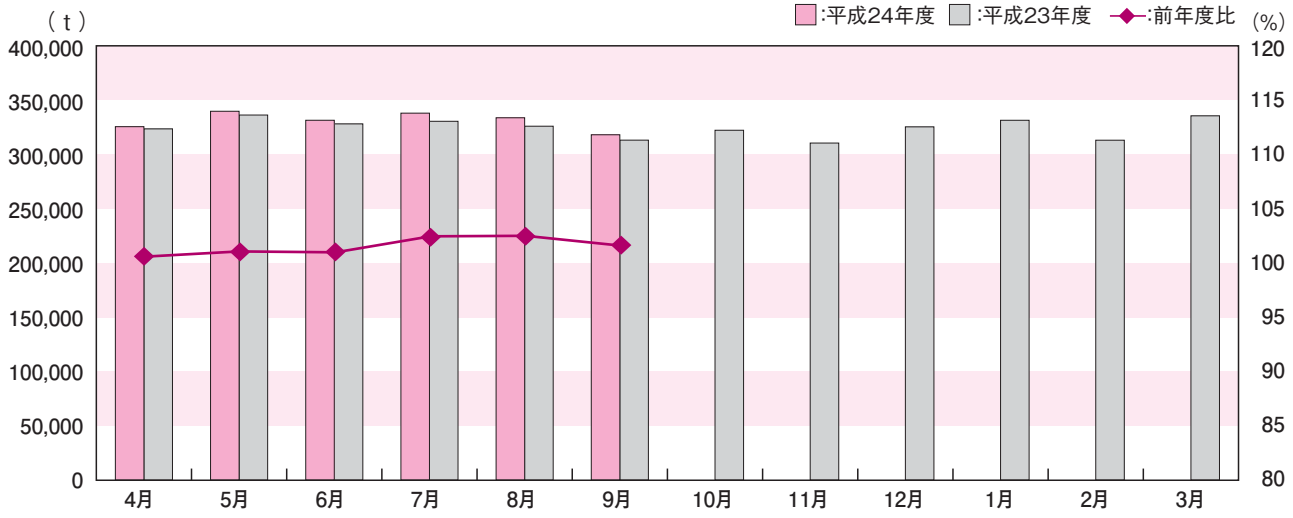
北米コンテナ船フレート	北米の東海岸において、10月1日に港湾作業員によるストライキ実施が予告されたことで、西海岸に貨物が集中する可能性が出てきたためコンジェスチョン・チャージ（混雑に対するチャージ）として$1,000前後/コンテナ（1ドル78円換算で3,500～4,000円/トン）の導入が発表された。ストライキが延期となったことで同チャージの導入は見送られたが、東海岸での労使協議は合意には至っていないため、協議次第では再度検討される可能性がある。WTSA加盟の船会社から10月1日付けでGRI（基礎レート）$200値上げ実施の発表がなされたが、10-12月分のBAF（燃料費調整係数）の$84値下げに乗じて、GRIを$84値上げとしている船会社・航路が多い模様。GRIについては、11月1日付けで$200値上げ実施の発表がなされており、引続き強含みで推移することが予想されている。
米国の乳価動向	米国内の景気に影響されて弱含みで推移していたが、乳製品の相場価格上昇にともない、6月から徐々に値上がりで推移している。ただし、飼料コストも値上がりしているため米国内酪農家は引き続き厳しい経営を強いられている。
ビートパルプ	【米国産】主産地であるミネソタ州とノースダコタ州はあまり旱魃傾向ではなかったため、生育は概ね順調に推移し8月中旬から12年産の収穫が始まった。冷涼な気候が続いて収穫が遅れた11年産よりも2-4週間早い進捗。11年産は20st（ショートトン）/エーカー（ビート大根の単収）を下回る圃場もあったが、12年産は例年並みの25-26st/エーカーの見込み。しかしながら、穀物相場が高騰しているため、引続き高値で推移することが予想されている。
アルファルファヘイ	【ワシントン産】コロンビアベースンでは、1番刈の60%程度、2番刈の50-60%程度が雨当たり被害を受けた。3タイの発生量が減少し、生産効率の高いBIGベールでの生産が大半となっている。産地では3番刈の収穫が終了しており、降雨被害はほとんどなかったものの、全体的に茎が細めの仕上がりとなっている。現在4番刈の収穫が進行中で、今のところ天候は良好であり良品の収穫が期待される。
	【オレゴン産】クリスマスバレーでは、7月下旬から2番刈の収穫が始まり、既に終了した。クリスマスバレー、クラマスフォールズともに、早い圃場では9月上旬から3番刈の収穫が始まっている。両産地とも天候は良さそうであり、良品の収穫が期待される。
	【ネバタ産】1番刈は40-50%程度、2番刈は30-40%程度の雨当たり被害が発生。中西部旱魃と穀物高騰の影響から、一部では他州からの引合いが強くなっていると伝えられている。
	【ユタ産】2番刈は多くの圃場で雨当たり被害を受けた模様だが、3番刈は天候も良く、雨当たり被害は少ない模様。ネバダ産同様、他州の酪農家やUAE向けの引合いが強い模様で、産地価格は引き続き強含みで推移することが予想されている。
	【カリフォルニア産】インペリアルバレーでは、7番刈の収穫が進んでいる。7月の激しい降雨により影響があったものの、一般的に成分・品質が落ちる「サマーヘイ」が中心となっているため、日本向けには大きな影響がないと考えられている。UAE・中国向けは引き続き引合いが強く、雨当たり品はUAE向けに多く出荷されているとも伝えられている。
チモシー	【米国産】1番刈は50-60%程度が雨当たり被害を受けており、近年まれにみる厳しい状況。酪農向けの中間グレード品も馬用に向けられているため、酪農向けは中間グレード品でさえも確保が困難な状況である。穀物相場の高騰から転作が進められる圃場も多く、2番刈の作付面積は大きく減少すると一部では予想されている。産地価格についても非常に高値で推移している。
	【カナダ産】レスブリッジでは、1番刈の収穫時期に雨当たり被害が発生したためハイグレード品は1%となり、中間グレード品以下が中心の作柄となっている。9月中旬から2番刈の収穫が始まっており、今のところ天候は良く良品の収穫が期待される。ドライランドでも雨当たりが発生したためハイグレード品の発生量は限定的。両産地とも、米国産1番刈の状況を受けて、中間グレード品でさえも確保が非常に困難な状況となっている。
スーダン	【インペリアルバレー産】産地では早播きの2番刈や小麦収穫後に播種する遅播きのスーダングラス（アフターウイート）の収穫が待たれていたが、7月末の激しい降雨、8月中旬のまとまった降雨により、中間グレード品やローグレード品の発生量についても、予想よりも大きく減少する見込み。産地価格についても、激しい降雨があった以前（7月）よりもさらに高騰して推移している。
	【北カリフォルニア産】1番刈の収穫は80%程度終了しており、間もなく2番刈の収穫が始まる見込み。これまで天候については問題なく、比較的良品が発生しており、茶葉の混入も少ない傾向である。インペリアルバレー産の状況から引合いは強まっており、産地価格も高騰している。
クレイングラス	1、2番刈は良品の発生が多かったが、3番刈は雨当たりから刈遅れ気味となったスタックも多く、茎が硬め・太めで茶葉が多めの傾向。現在4番刈の収穫が終盤を迎え、早い圃場では5番刈の収穫が始まっている。4番刈についても湿度の高い天候が続いたためブリーチ（色褪せ）や茶葉が多めの傾向となっている。
バミューダ	バミューダヘイ、バミューダストローともに、7月末の激しい降雨による雨当たり被害を受けた。国内向け・輸出向けともに強い需要が続くと予想されているため、今後の産地価格も弱含むことなく推移する見込み。
ストロー類	フェスキューストロー、ライグラス（ペレニアル種）ストローはともに12年産の収穫が終了した。年々減少している作付面積は今年もやや減少しており、加えて韓国からの引合いも強くなっているため、12年産以降もストロー類は引き続きタイトで推移することが予想されている。産地価格もこれまでにないほど高値で推移しているため、在庫を抱えて売るタイミングを見計らっている生産農家も多い模様。
オーツヘイ	【西豪州産】早い圃場では9月中下旬から、本格的には10月上中旬から12年産の収穫が始まる見込み。7月は旱魃傾向となっていたが、8月には降雨が何度かあり、生育進捗も少し回復している模様。生育も一昨年の10年産ほど悪くはないが、収量は例年よりも少なくなる見込み。10年産の旱魃、11年産の雨当たり被害と生産農家は厳しい経営を強いられているため、穀類の転作が多いと予想され、12年産の作付面積は15%以上も減少することが予想されている。
	【南豪州産】西豪州同様、本格的な収穫は10月上中旬から始まる見込み。西豪州とは違い、7月にも例年並みの降雨があったため、生育は順調と伝えられているが、播種時期から局地的に降雨があった影響で、生育状況にバラつきもみられる模様。西豪州からシフトしてきた旺盛な引合いを背景に、12年産の作付面積は同程度か少し増えることが予想されている。
	【東豪州産】ヴィクトリア州でも10月中下旬から本格的な収穫が始まる見込み。南豪州と同様に7月に例年並みの降雨があったため、生育は順調と伝えられているが、8-9月は降雨量がやや少なく低温であったため、生育進捗が少し良くない圃場もある模様。南豪州同様、強い引合いから12年産の作付面積は増えることが予想されている。

平成24年度（9月） 地域別生乳生産量

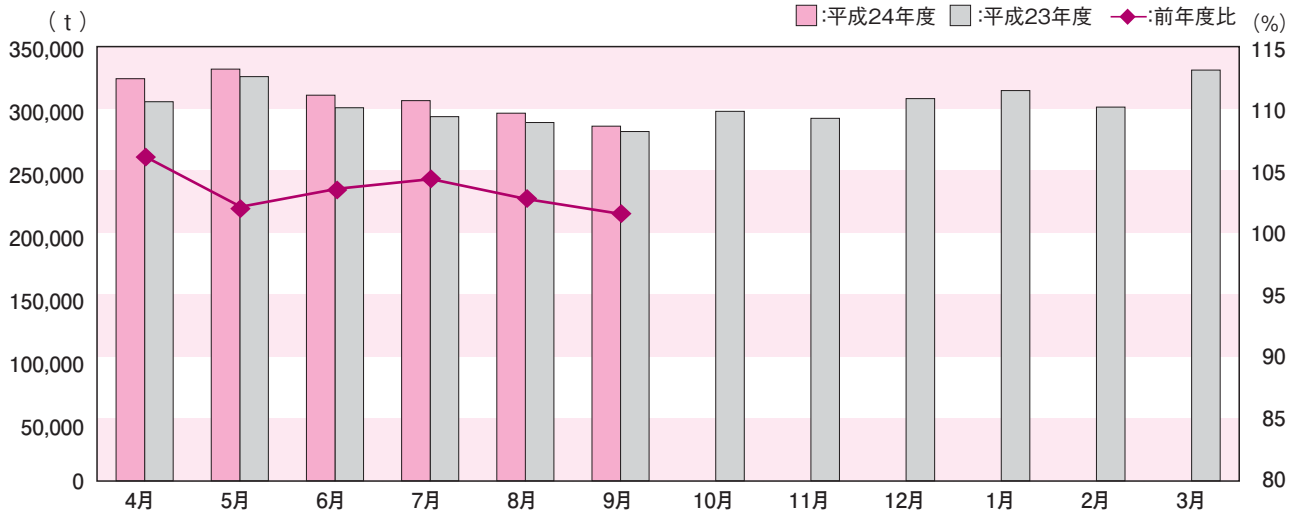
単位： t

	全　国	北海道	東　北	北　陸	関　東	東　山	東　海	近　畿	中　国	四　国	九　州	沖　縄
23 年度　9 月	594,466	313,005	47,323	7,707	82,863	10,857	30,317	15,519	23,565	10,534	50,642	2,134
10 月	619,843	322,112	50,137	8,147	88,027	11,085	32,618	16,214	24,827	11,039	53,418	2,219
11 月	602,420	310,328	49,086	7,959	86,312	10,743	32,225	16,013	24,147	10,937	52,508	2,162
12 月	633,207	325,234	51,663	8,513	90,717	11,280	33,692	17,036	25,222	11,636	55,987	2,227
1 月	645,750	331,298	52,019	8,829	92,456	11,185	34,749	17,486	25,865	12,036	57,569	2,258
2 月	614,082	312,946	49,521	8,382	88,672	10,472	33,129	16,653	24,789	11,472	55,775	2,271
3 月	666,347	335,386	54,152	9,249	97,760	11,542	36,017	18,526	27,139	12,421	61,632	2,523
24 年度　4 月	649,417	325,403	53,039	9,170	96,089	11,050	35,816	18,021	26,669	12,113	59,575	2,472
5 月	671,328	339,593	54,297	9,227	98,067	11,665	36,780	18,427	27,627	12,313	60,803	2,529
6 月	642,043	331,311	51,516	8,701	91,724	11,050	34,328	17,034	25,850	11,373	56,767	2,389
7 月	644,196	337,854	51,884	8,548	90,654	11,038	33,415	16,758	25,390	10,975	55,312	2,368
8 月	629,828	333,599	50,211	8,130	87,907	10,950	31,827	16,191	24,820	10,636	53,274	2,283
9 月	603,727	317,951	47,759	7,919	84,415	10,377	30,866	15,292	24,164	10,399	52,368	2,217
前年同月比	101.6%	101.6%	100.9%	102.8%	101.9%	95.6%	101.8%	98.5%	102.5%	98.7%	103.4%	103.9%
24 年度　累計	3,840,539	1,985,711	308,706	51,695	548,856	66,130	203,032	101,723	154,520	67,809	338,099	14,258
前年同月比	102.4%	101.5%	109.0%	100.7%	103.0%	98.2%	102.4%	100.4%	102.1%	98.7%	103.4%	102.4%

北海道の月別生乳生産量



都府県の月別生乳生産量

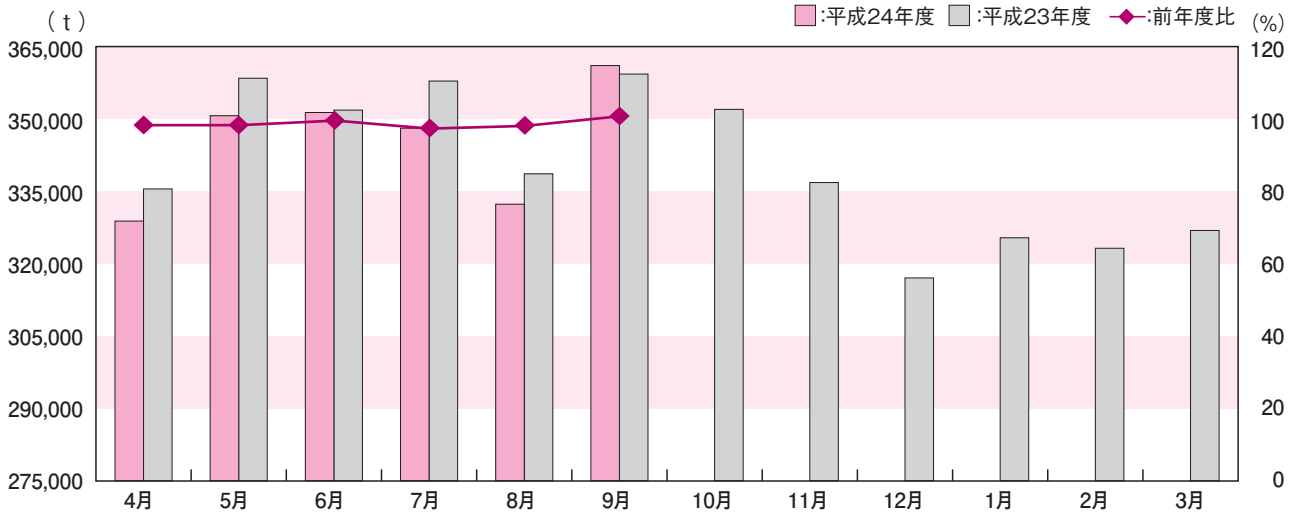


平成24年度（9月） 用途別処理量

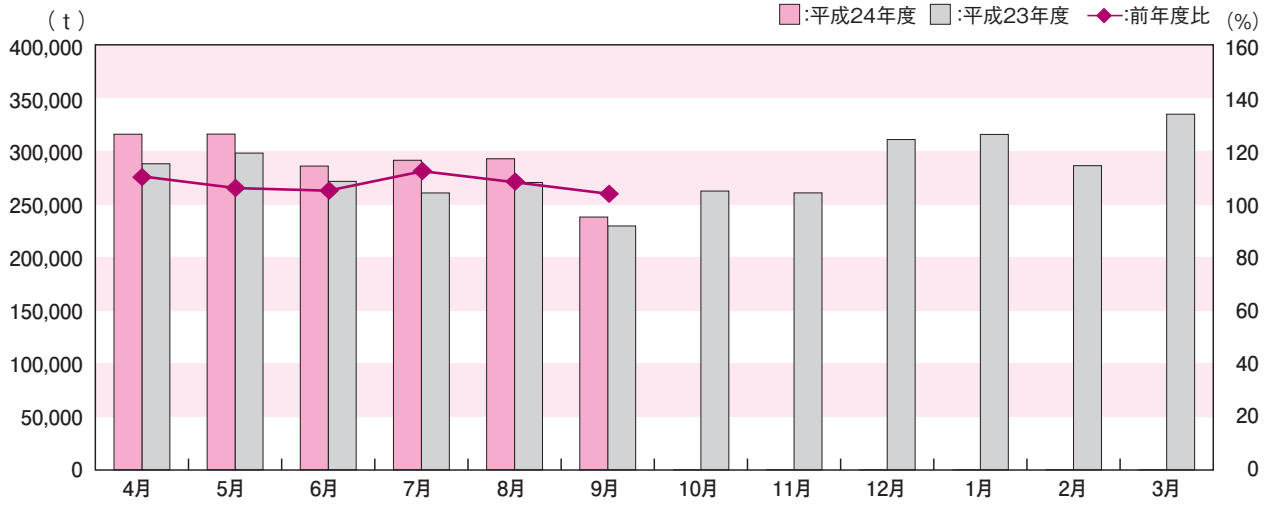
単位：t

	用途別処理量							
	生乳生産量	牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	チーズ向け	クリーム等向け	その他	欠　減
23年度 9月	594,466	359,270	27,189	229,452	32,181	104,967	5,744	1,192
10月	619,843	351,958	29,171	262,271	38,368	110,428	5,614	1,076
11月	602,420	336,798	29,374	260,547	38,338	108,557	5,075	886
12月	633,207	317,039	27,191	310,749	39,974	109,880	5,419	957
1月	645,750	325,351	24,812	315,558	46,565	96,795	4,841	1,002
2月	614,082	323,184	25,383	286,133	45,293	99,089	4,765	961
3月	666,347	326,874	28,301	334,591	48,467	109,346	4,882	1,038
24年度 4月	649,417	328,810	27,221	315,743	41,550	105,614	4,864	1,014
5月	671,328	350,642	23,794	315,862	44,713	107,516	4,824	1,019
6月	642,043	351,307	22,672	285,771	40,825	106,295	4,965	1,144
7月	644,196	348,063	23,731	291,244	41,566	111,117	4,889	1,038
8月	629,828	332,311	23,748	292,625	42,664	106,788	4,892	1,069
9月	603,727	361,031	27,619	237,824	33,734	106,116	4,872	1,026
前年同月比	101.6%	100.5%	101.6%	103.6%	104.8%	101.1%	84.8%	86.1%
24年度 累計	3,840,539	2,072,164	148,785	1,739,069	245,052	643,446	29,306	6,310
前年同月比	50.4%	51.1%	47.5%	49.6%	48.8%	50.4%	48.9%	51.6%

牛乳等向け処理量の推移



乳製品向け処理量の推移



※農林水産省統計部が公表した「牛乳乳製品統計」をもとに本会酪農部で集計した。

デザート Dessert

⑧奥中山アイスSセット
税込**3,990円**（本体3,800円）
バニラ130ml×2個／ブドウ130ml×2個／洋なし130ml×2個／イチゴ130ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵
お取扱期間　11／19~1／31
冷凍　普　短

⑨奥中山アイスIセット
税込**5,250円**（本体5,000円）
バニラ130ml×2個／ブドウ130ml×2個／洋なし130ml×2個／イチゴ130ml×2個／コーヒー130ml×2個／抹茶130ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵
お取扱期間　11／19~1／31
冷凍　普　短

⑩蒜山ジャージー アイスクリームプレミアム
税込**5,460円**（本体5,200円）
バニラ120ml×2個／抹茶120ml×2個／珈琲120ml×2個／ミルク120ml×2個／チョコレート120ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵
お取扱期間　11／19~1／31
冷凍　普　短

⑪北海道ぴゅあチーズケーキセット
税込**4,725円**（本体4,500円）
ベイクドシートタイプ×1個／ニューヨークシートタイプ×1個／メイプルチョコレートシートタイプ×1個
〈アレルゲン物質〉小麦／乳／卵
お取扱期間　11／19~1／31
冷凍　短

⑫長崎カステラセット3本入り
税込**3,150円**（本体3,000円）
牛乳カステラ275g×2本／チーズカステラ275g×1本
※10等分カットタイプ

⑬長崎カステラセット4本入り
税込**3,885円**（本体3,700円）
牛乳カステラ275g×2本／チーズカステラ275g×1本／抹茶カステラ275g×1本　※10等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦／乳／卵
お取扱期間　11／19~1／31
全　普

加工肉 Meat

⑭SP-104　税込**4,400円**（本体4,190円）
熟成糸巻ロースハム360g／焼豚340g
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／豚肉
お取扱期間　11／19~12／14
冷蔵　簡易　短

⑮SP-105　税込**5,500円**（本体5,238円）
熟成糸巻ロースハム360g／焼豚340g／ベーコン280g
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／豚肉
お取扱期間　11／19~12／14
冷蔵　簡易　短

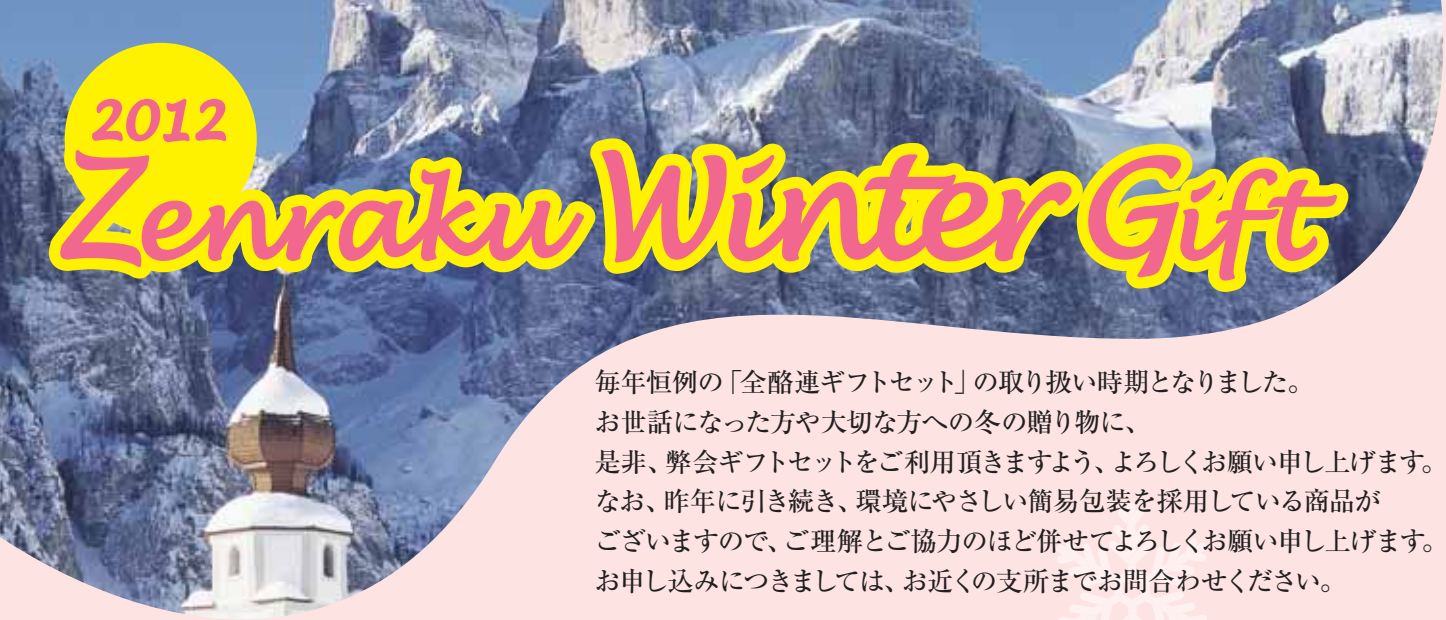
⑯DF-100　税込**11,000円**（本体10,476円）
ローストビーフ（和牛）300g×2個
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／ 牛肉
お取扱期間　11／19~12／14
冷凍　簡易　短

⑰OC-40　税込**3,800円**（本体3,620円）
北海道認証ベーコン80g×1個／北海道ポークフランク220g×1個／あらびきウインナー110g×1個／ガーリックウィンナー110g×1個／あらびきフランク200g×1個／行者にんにくウィンナー120g×1個
〈アレルゲン物質〉乳／豚肉
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵　普　短

⑱OC-50　税込**4,800円**（本体4,571円）
北海道認証ベーコン300g×1個／北海道認証ペッパーポーク320g×1個／あらびきウインナー110g×1個／ガーリックウィンナー110g×1個／バジリコフランク240g×1個／あらびきフランク200g×1個
〈アレルゲン物質〉豚肉
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵　普　短

全国酪農業協同組合連合会

●本所 酪農部	TEL 03-5931-8008	FAX 03-5931-8025	●名古屋支所	TEL 052-771-7104	FAX 052-771-7246
●札 幌 支 所	TEL 011-241-0765	FAX 011-241-0769	●大 阪 支 所	TEL 06-6305-4196	FAX 06-6305-4899
●仙 台 支 所	TEL 022-221-5381	FAX 022-221-5384	●福 岡 支 所	TEL 092-432-2121	FAX 092-431-6313



2012 Zenraku Winter Gift

毎年恒例の「全酪連ギフトセット」の取り扱い時期となりました。
お世話になった方や大切な方への冬の贈り物に、
是非、弊会ギフトセットをご利用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、昨年に引き続き、環境にやさしい簡易包装を採用している商品が
ございますので、ご理解とご協力のほど併せてよろしくお願い申し上げます。
お申し込みにつきましては、お近くの支所までお問合わせください。

チーズセット Cheese

①東毛酪農カマンベール3個セット
税込**2,625円**（本体2,500円）
カマンベールチーズ100g×3個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵 簡易 短

②飛騨バターギフトセット
税込**3,000円**（本体2,857円）
アルプスバター200g×1個／はちみつバター130g×2個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵 全 短

③Z-A　税込**3,830円**（本体3,648円）
酪農家バター200g×1個／酪農家6Pチーズ120g×1個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×2個／おいしいスモークチーズ75g×1個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵 簡易 短

④Z-B　税込**4,980円**（本体4,743円）
酪農家バター200g×1個／酪農家チーズ200g×1個／酪農家6Pチーズ120g×2個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×1個／おいしいスモークチーズ75g×1個／ぬるチーズ150g×1個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵 簡易 短

⑤Z-C　税込**5,830円**（本体5,552円）
酪農家バター200g×1個／酪農家チーズ200g×1個／酪農家6Pチーズ120g×2個／酪農家とろけるスライスチーズ144g×1個／酪農家スライスチーズ144g×2個／おいしいスモークチーズ75g×1個／ぬるチーズ150g×1個／パウダーチーズ70g×1個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11／19~1／31
冷蔵 簡易 短

麺 Noodle

⑥全酪ラーメンセット
税込**4,410円**（本体4,200円））
全酪博多ラーメンとんこつ味×5食／とんこつみそ味×5食／しょうゆ味×10食
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／牛肉／鶏肉／豚肉／魚介類／ゼラチン
お取扱期間　11／19~1／31
全 短

⑦島原手延うどん
税込**2,625円**（本体2,500円）
手延うどん島原平造り50g×21束
〈アレルゲン物質〉小麦
お取扱期間　11／19~1／31
全 普

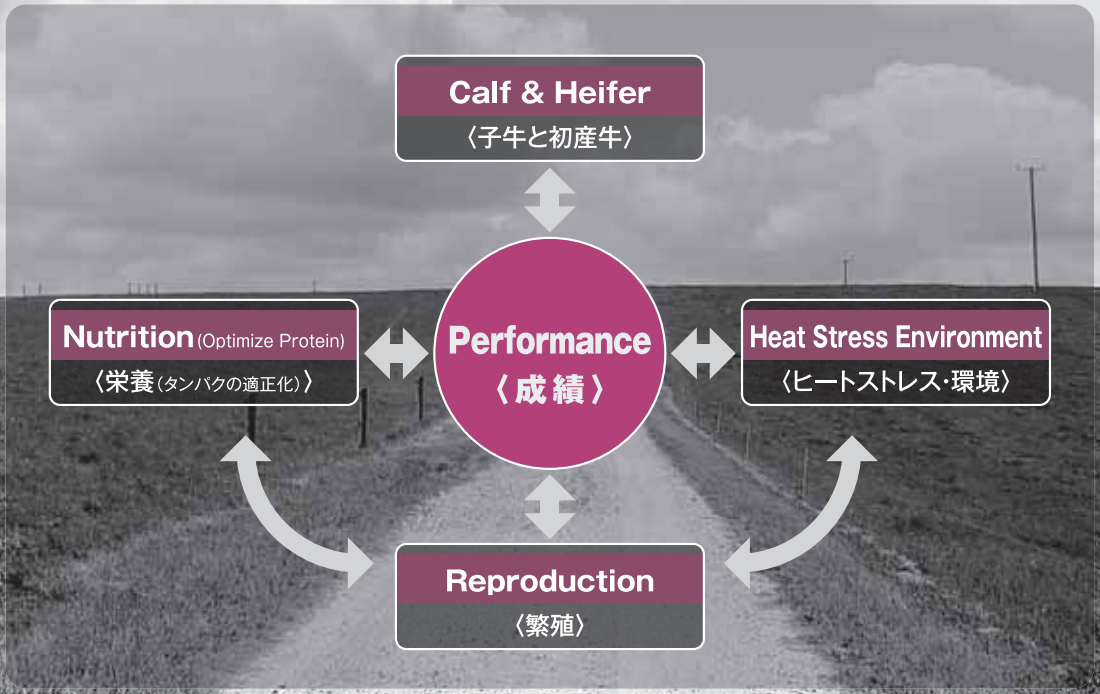
●詰合せ内容･商品デザイン及び配列についてはお断りなく一部変更する場合があります●商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください●掲載商品の価格には、消費税及び配送料が含まれております● 冷凍 冷蔵 マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります● 簡易 全 マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。（簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。）● 普 短 マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

ハイ・パフォーマンスに

挑戦！

Challenge

～愛牛を大切にしたい、その想いをささえます～



Your Partner 全酪連

北海道 乳牛産地情報

平成24年11月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ↑……強含み ↗……やや強含み →……横這い ↘……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	27～32	→	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.2%、累計で101.0%、苫小牧管内月計で98.1%、累計で99.3%の実績となりました。11月の初妊牛の価格動向ですが、夏季放牧からの下牧も順調に実施され、資源的には多少増えると思われますが価格的には横這いで推移するものと思われます。育成牛、経産牛につきましても価格を大きく左右する環境で無い事から横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	48～52	→	
	経産牛	40～45	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30～35	→	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.9%、累計で101.2%、中標津管内月計で104.0%、累計で102.5%の実績となっております。11月の初妊牛の動向ですが、1月分娩から2月中旬分娩中心の動きとなり、先月と同様に購買の動きが活発で3ヵ月先の分娩牛が動くものと思われます。相場に関しても、道内も含め活発に動き始める様相であり、F1腹で55万円～、選別腹も55万円中心、ホルス腹が50万前後となり、年明けの相場展開になるものと予想します。11月の上旬で夏季放牧牛が下牧してきますが、販売する初妊牛は、大幅に増えるとも思われない状況です。
	初妊牛	50～58	↑	
	経産牛	40～48	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	29～34	→	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.3%、累計101.3%の実績となっております。11月の初妊牛の動向につきまして、1～2月分娩腹が中心になりますが、購買の流れが非常に早いため3月分娩腹も動き始めると思われます。夏季放牧牛の下牧は順調に行われておりますが、一方で府県購買の引き合いも強くなることが予想され、価格は横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	49～54	→	
	経産牛	45～50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	25～33	→	道北管内の10月中旬までの生乳生産量は稚内管内月計で103.3%、累計101.3%。北見管内月計で103.6%、累計で101.8%の実積となっております。初妊牛の10月の動向は、11月～12月腹中心で購買客も少なく、多少荷動きはありましたが、価格については横這いでした。11月からの乳牛購買については、1～3月腹中心で、府県購買の引き合いが強くなることが予想されますが、夏季放牧からの下牧の時期でもあり、資源に余裕があることから価格面では横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	48～53	→	
	経産牛	40～47	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30～35	→	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は月計で102.6%、累計で101.6%なり、猛暑の影響から回復し順調に生乳生産量を伸ばしております。初妊牛の11月の動向は、1～2月分娩腹が中心となります。今後の値上がりを懸念して早い動きになっておりますので3月腹も動くと予想されます。価格的には購買も多くなりますが、下牧時期で資源もある程度あるため、全道的には横這いで推移するものと思われます。しかし、新規就農等で道内導入が活発な地域においては、強含みの相場に転じる可能性もあります。購買予定がありましたら、各地域の相場も考慮におき、ご購買をされますようお願い申し上げます。
	初妊牛	48～53	→	
	経産牛	45～50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

ちゃんとお手伝いしてるよ

今月の表紙は、「第3回酪農いきいきフォトコンテスト」(第41回全国発表大会にて開催)で優秀賞を受賞した「ちゃんとお手伝いしてるよ」(愛知県 片岡 建二氏 撮影)です。アングルがいつもと異なるだけで、頑張っているお子さんを牛が見守っている雰囲気が伝わってきます。牛のあたたかな眼差しに、こちらまでほっこりしてしまいます。

編集後記

▼冬に向けて、脂肪をため込む季節がやってきました♪(牛にしたら、もってのほかですが…)ホットミルクが美味しくなる時期ですね。

▼ご意見・ご要望・応援等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成24年11月10日発行(毎月1回10日発行)
ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION
全酪連会報 11月号 No.566

●編集・発行人 中島 裕志郎
●発行 全国酪農業協同組合連合会
〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号
TEL 03-5931-8003
http://www.zenrakuren.or.jp/

エサをぜんぜん食べないよ
豊富小学校（中部）3年　清水悠矢

今月の らくのうこども ギャラリー 入賞作品紹介

今月の入選作品は、豊富小学校（中部）３年の清水悠矢さんの「エサをぜんぜん食べないよ」です。
牛さんを右側に配置し、左側に何もない空間を配した斬新な構図です。作者の牛さんを心配する気持ちが絵でうまく表現できましたね。作品としての力強さもあると思います。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第39回らくのうこどもギャラリー」で全国461点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催　全国酪農青年女性会議